

最新ロボット機械や精密工具

STF昭栄テクニカルフェア 重さ4キロ協働ロボットが人気

働き方改革やIOTなど 新しい時代のモノづくりに適応

新しい時代のモノづくりに適応



朝から多くの企業が訪れた昭栄テクニカルフェアの初日

昭栄産業は県内各地の三栄で毎年開いており、製造業を主なターゲット。今回は「After J」に、工作機械や測定・情IOT、新しい時代報機などを販売しているの道標をコンセプトに、昨年十一月に東京ビッグサイト(東京都江東区)は県内の真ん中に位置して開かれた「IOT O」を交通の便がよく、製造F(日本国際工作機械見業が盛んで顧客も多い燕本市)に開催された新



育良精機(つくば市)のパーソナルクリーナー



県央地域から唯一参加した北越工業のモーターコンプレッサ

製品を中心に、高齢化による人手不足、企業労働環境を見直す働き方改革、建物や車、電気が向上したたけで電子機器がインターネットに接続されるIOTを機軸としたIOT。新しい時代のモノづくりの現場に対応した製品を展示。
IOT「接続を用いた多様な細かい作業が可能」は、重さ約四キロの小型で持ち運びができる人協働ロボット「COBOTTA」を展示し、持ち運びだけでなく、専用のアプリケーションで簡単に操作できるため、プログラミングの知識がない業者からも人気を博す。
この日は午前九時半の開場から県内をはじめ、山形や長野の顧客が多く訪れ、出展メーカーの実演や売り込みに関わっており、工作機械メーカー担当者は「燕三条地域は金属加工が盛んだが人手不足に悩んでいる企業も多いので、今回は絶好のチャンス。二日間では多くの企業に見てほしい」と話している。

製品を中心に、高齢化による人手不足、企業労働環境を見直す働き方改革、建物や車、電気が向上したたけで電子機器がインターネットに接続されるIOTを機軸としたIOT。新しい時代のモノづくりの現場に対応した製品を展示。
IOT「接続を用いた多様な細かい作業が可能」は、重さ約四キロの小型で持ち運びができる人協働ロボット「COBOTTA」を展示し、持ち運びだけでなく、専用のアプリケーションで簡単に操作できるため、プログラミングの知識がない業者からも人気を博す。
この日は午前九時半の開場から県内をはじめ、山形や長野の顧客が多く訪れ、出展メーカーの実演や売り込みに関わっており、工作機械メーカー担当者は「燕三条地域は金属加工が盛んだが人手不足に悩んでいる企業も多いので、今回は絶好のチャンス。二日間では多くの企業に見てほしい」と話している。



THKが出展した双腕ロボット「NEXTAGE」



デンソーウェアの人の協働ロボット「COBOTTA」



県央地域から唯一参加した北越工業のモーターコンプレッサ



発行所
三条市東裏館2-21-38
三條新聞社
電話 32-5511番(代表)
FAX 32-5226番(代表)
©三條新聞社 2019